

真夏の太陽の下、熱戦つづく!



第22回全日本小学生男子ソフトボール大会開幕

第22回全日本小学生男子ソフトボール大会が8月1日の開会式を終え、2日から牧之原市榛原総合運動公園「グリーンパル」で全国各地から精鋭48チームが参加して行われ、各球場で球児たちの熱い戦いが始まった。静岡県から、原B・Gファイターズ、榛原クラブ、袋井ファイターズソフトボールスポーツ少年団、青島東ソフトボールスポーツ少年団が出場。初戦を戦った結果、青島東ソフトボールスポーツ少年団と榛原クラブが勝利し、原B・Gファイターズ、袋井ファイターズソフトボールスポーツ少年団は惜しくも敗退。

開会式は静波グラウンドで開催され、相良中学校吹奏楽部のマーチング演奏に合わせて、全国から参加した48チームが団旗を先頭に力強い入場行進を行った。開会式で主催者を代表して服部日ソ協常任理事が「最高の会場で交流を深め、素晴らしい夏の思い出を作してほしい」と激励。また、地元静岡県ソフトボール協会を代表して塩澤会長が「明日のソフトボールを担う小学生の育成に力を注いでいる指導者に敬意を表したい」と選手を育て指導された人達に感謝の意を表した。最後に榛原クラブの西川 聖主将が「夢の全国大会でプレー出来る喜びを感じ、今日まで心と身体を成長させてくれた人達に感謝しながら、一球一球を大切に精一杯戦います」と力強く宣誓し、大会の火蓋を切った。



原B・Gファイターズ

原B・Gファイターズ・矢島親道監督の抱負

創部15年目で初の全国大会。8年前あと一步のところまで全国大会の夢が潰れた悔しさ思いをした。一戦一戦を大事に戦いたい。県大会で身に付けた「諦めない」気持ちで戦いたい。

森 巨平主将の抱負

初めての全国大会なので緊張している。四球を出さないよう(三番でエース)打たせてとる投球をしたい。先ず一回戦を勝ちたい。

【一回戦】

原B・Gファイターズ 0 - 4 林ジュニアクラブ(兵庫)



青島東ソフトボールファイターズ



駒井主将(左)と神谷コーチ

神谷貴士・コーチの抱負

先ず、一勝！守備のチームで且つ、四番の打撃に頼るチーム。出場出来て嬉しい。どんな状況でも全てにおいて四番の菅原とエースの竹内が勝敗の鍵を握っている。あたり前のことを当たり前、基本に忠実にをモットーに、大きなよう気合を入れて頑張りたい。声を出して、気合で負けないようにしたい。

駒井 覚・主将の抱負

全力を尽くしたい。大きな声を出してガラガラしない

【一回戦】	本 荘	0000000	0
	青島東	32046X	15



榎原クラブ



西川主将(左)と大橋監督

西川主将の抱負

全試合に自分たちの持てる力を全部出したい。打撃が落ちるのでコツコツと1点を確実に獲って勝ちたい。

大橋監督の抱負

打撃より守りのチーム。守り抜いて少ないチャンスを確実に活かして戦いたい。

【一回戦】	鳩ノ森ファイターズ	0000000	0
	榎原クラブ	130102X	7

高塚が7回一死までノーヒットノーランを続けたが、途中で交代。参考記録となる。



袋井ファイターズソフトボールスポーツ少年団



大鋸主将(左)と飛永監督

大鋸主将の抱負

2回目の出場。全員に声を出すよう言っている。声を出してエラーをしないよう優勝を目指して頑張る。

飛永監督の抱負

全国レベルで言えばCクラス。一戦一戦をもてる力で戦い、全国のAクラスと当たる三回戦までには残りたい。5年生主体のチームなので、先を見据えた戦いをしたい。

【一回戦】

田の上ソフトボールスポーツ少年団(愛媛)	1090002	12
袋井ファイターズソフトボールスポーツ少年団	1000100	2